



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 株式会社 ハークスレイ  
 コード番号 7561 URL <http://www.hurxley.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 青木 達也  
 (氏名) 西田 治司  
 配当支払開始予定日

TEL 06-6376-8088  
 平成28年12月1日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	23,936	△1.0	347	△10.3	565	△7.7	384	△8.2
28年3月期第2四半期	24,184	0.3	387	13.0	612	△8.2	419	△10.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 350百万円 (△16.8%) 28年3月期第2四半期 421百万円 (△14.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	41.02	40.99
28年3月期第2四半期	42.38	42.33

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	37,550	19,215	51.1	2,046.16
28年3月期	36,852	19,097	51.8	2,033.80

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 19,200百万円 28年3月期 19,084百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
29年3月期	—	20.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,160	5.0	1,166	28.8	1,559	12.3	1,104	△21.0	117.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	11,025,032 株	28年3月期	11,025,032 株
29年3月期2Q	1,641,373 株	28年3月期	1,641,373 株
29年3月期2Q	9,383,659 株	28年3月期2Q	9,894,965 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済・金融政策を背景に持ち直しの動きがみられ、雇用および所得も緩やかな改善傾向で推移しているものの、当社グループが属する「食」の分野では、食材価格や人件費の上昇傾向による影響だけでなく、デフレ懸念の継続や金融施策による影響への懸念もあり、依然として企業収益の改善や個人の消費支出に停滞感がみられております。

このような環境の中、持ち帰り弁当事業では、食に対する安心、安全への「こだわり」をビジネスの中心に据え、お客様に満足いただける商品・サービスを提供すべく食材を厳選し、旬の食材を通じて季節を感じていただけるメニューの提供を進めてまいりました。また、継続して「ほっかほっか亭40周年」を記念したキャンペーンを実施してまいりました。

店舗委託事業では、当社ブランドの訴求とともに優良物件の仕入を進めてまいりました。

このような中、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高239億36百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益3億47百万円（前年同期比10.3%減）、経常利益5億65百万円（前年同期比7.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億84百万円（前年同期比8.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①持ち帰り弁当事業

持ち帰り弁当事業においては、地域の人たちの豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求しております。

お値打ち感のある商品として、「しょうが焼き&かきあげ弁当」では家庭の味が、「おろしハンバーグ弁当」などの「おろしシリーズ」では暑い時期に食欲をそそるさっぱり感が、お客様に高い支持をいただいたほか、「サーロインステーキ弁当」などの期間限定メニューでも、さらなるお客様の支持をいただいております。

また、ほっかほっか亭1号店が誕生してから40年となることを記念したキャンペーンを継続して実施したほか、顧客満足度の向上に向けて店舗を対象に「QSCアワード」を実施するなど、さらなるブランド訴求を行ってまいりました。

この結果、持ち帰り弁当事業の売上高は99億45百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益は5億64百万円（前年同期比17.6%減）となりました。

#### ②店舗委託事業

店舗委託事業においては、自社で運営するインターネットサイト「店通（てんつう）」などの媒体を活用して、飲食業界の皆様に対する自社ブランドの浸透とイメージ向上を図り、優良物件の仕入、信頼と利益の極大化を目指してまいりました。

この結果、店舗委託事業の売上高は114億91百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は2億39百万円（前年同期比39.3%増）となりました。

#### ③店舗管理事業

店舗管理事業においては、安定的な収益機会を確保すべく、ビル管理受託業務の契約数増加を図るとともに、ビル受託業務に関連する収益機会にも目を配り、ビルオーナーの収益向上を支援してまいりました。

この結果、店舗管理事業の売上高は3億56百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益は2億4百万円（前年同期比21.2%増）となりました。

#### ④店舗直営事業

店舗直営事業においては、前期に導入した新たな販促媒体の活用を進めることにより、来店客数に占める新規顧客比率が増加するなど、販促施策の成果が出ております。しかし、新たな定番メニューの魅力や更なる割安メニューの全店展開、時間帯サービス導入等の訴求を行ったものの、来店客数の増加には至りませんでした。

この結果、店舗直営事業の売上高は6億34百万円（前年同期比8.3%減）、営業損失は21百万円（前年同期は営業損失2百万円）となりました。

#### ⑤その他の事業

フレッシュベーカリー事業においては、ブランド名を「妖精の国」を意味する「アルヘイム」に刷新し、店内で焼成した「焼きたて」の「手づくり」パンの提供をアピールするとともに、商品のブラッシュアップを行い、一部工程では機器導入による生産性向上を図っております。

物流関連事業においては、物流業務等の新規獲得および取引拡大に向けてグループ外企業への営業活動に注力するほか、独自開発商品や共同開発商品の積極的な展開が、量販店など複数の販路における取り扱い継続・拡大につながり、売上拡大に寄与しております。

その他の事業の売上高は15億8百万円（前年同期比32.6%増）、営業利益は19百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億98百万円増加し、375億50百万円となりました。主な要因として、現金及び預金が10億24百万円、敷金及び保証金が1億31百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が1億5百万円、建物等の有形固定資産が1億30百万円、投資有価証券が72百万円、長期未収入金が1億80百万円減少したことによるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ5億80百万円増加し、183億35百万円となりました。主な要因として、1年内返済予定の長期借入金が8億2百万円、長期預り保証金が1億31百万円増加しましたが、未払金が1億32百万円、長期借入金が2億17百万円減少したことによるものです。

非支配株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ1億17百万円増加し、192億15百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の51.8%から0.7ポイント下落し、51.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間末と比べ4億57百万円減少、前連結会計年度末と比べ10億24百万円増加して68億3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、13億95百万円（前年同期に得られた資金は6億75百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上5億36百万円、減価償却費の計上5億20百万円、売上債権の減少1億5百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、6億7百万円（前年同期に使用した資金は2億36百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入1億11百万円、投資有価証券の売却による収入1億26百万円がありましたが、有形固定資産の取得による支出6億3百万円、有形固定資産の除却による支出42百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、2億36百万円（前年同期に使用した資金は6億52百万円）となりました。これは主に、長期借入れによる収入10億88百万円がありましたが、長期借入金の返済による支出5億3百万円、配当金の支払額2億34百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の連結業績は想定した範囲内の実績であり、平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い(実務対応報告第32号、平成28年6月17日)」を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,779,951	6,804,765
受取手形及び売掛金	1,712,869	1,607,750
商品及び製品	517,738	469,525
原材料及び貯蔵品	141,124	118,964
繰延税金資産	273,028	271,247
その他	906,455	859,135
貸倒引当金	△34,452	△40,124
流動資産合計	9,296,716	10,091,263
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,539,745	6,400,067
機械装置及び運搬具(純額)	156,961	215,443
工具、器具及び備品(純額)	372,609	373,636
土地	11,953,176	11,944,573
リース資産(純額)	103,150	108,501
建設仮勘定	56,963	9,440
有形固定資産合計	19,182,605	19,051,662
無形固定資産		
のれん	103,219	85,979
その他	209,722	196,874
無形固定資産合計	312,941	282,854
投資その他の資産		
投資有価証券	1,706,307	1,633,570
長期貸付金	64,990	62,485
敷金及び保証金	5,539,110	5,670,618
繰延税金資産	293,179	273,740
長期未収入金	872,755	692,275
その他	446,615	478,977
貸倒引当金	△862,708	△686,854
投資その他の資産合計	8,060,249	8,124,814
固定資産合計	27,555,796	27,459,331
資産合計	36,852,513	37,550,595

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,240,948	2,253,060
短期借入金	1,203,240	1,169,826
1年内返済予定の長期借入金	960,700	1,763,256
未払金	1,015,035	882,307
未払法人税等	42,695	156,110
未払消費税等	72,882	100,919
賞与引当金	176,096	174,149
その他	1,742,961	1,606,936
流動負債合計	7,454,559	8,106,565
固定負債		
長期借入金	5,754,365	5,536,535
退職給付に係る負債	37,592	38,501
長期預り保証金	3,715,630	3,847,322
繰延税金負債	225,592	226,582
資産除去債務	384,827	371,743
その他	182,357	208,046
固定負債合計	10,300,365	10,228,732
負債合計	17,754,925	18,335,297
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,980,653	3,980,653
利益剰余金	13,218,887	13,369,015
自己株式	△2,306,479	△2,306,479
株主資本合計	18,929,711	19,079,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	154,733	120,646
その他の包括利益累計額合計	154,733	120,646
新株予約権	7,845	9,806
非支配株主持分	5,297	5,005
純資産合計	19,097,588	19,215,297
負債純資産合計	36,852,513	37,550,595



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	24,184,985	23,936,110
売上原価	18,543,533	18,478,412
売上総利益	5,641,451	5,457,697
販売費及び一般管理費	5,253,782	5,110,133
営業利益	387,669	347,563
営業外収益		
受取利息	2,511	2,157
受取配当金	5,306	4,616
受取賃貸料	97,230	95,657
業務委託契約解約益	85,041	47,173
持分法による投資利益	12,051	20,209
その他	86,167	109,767
営業外収益合計	288,309	279,581
営業外費用		
支払利息	25,842	19,005
賃貸費用	17,045	19,186
業務委託契約解約損	3,633	5,608
その他	16,743	17,781
営業外費用合計	63,263	61,582
経常利益	612,715	565,561
特別利益		
固定資産売却益	11,072	1,512
投資有価証券売却益	—	87,972
受取補償金	80,000	16,000
その他	2,600	—
特別利益合計	93,672	105,484
特別損失		
固定資産除却損	5,967	83,261
固定資産売却損	1,366	2,657
減損損失	19,093	31,141
支払補償金	65,000	—
その他	24,100	17,503
特別損失合計	115,527	134,563
税金等調整前四半期純利益	590,860	536,482
法人税、住民税及び事業税	176,873	115,432
法人税等調整額	△6,032	36,427
法人税等合計	170,840	151,860
四半期純利益	420,020	384,622
非支配株主に帰属する四半期純利益	643	△291
親会社株主に帰属する四半期純利益	419,376	384,914

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	420,020	384,622
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,219	△31,967
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,730	△2,119
その他の包括利益合計	1,488	△34,087
四半期包括利益	421,509	350,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	421,059	350,826
非支配株主に係る四半期包括利益	449	△291

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	590,860	536,482
減価償却費	494,871	520,496
のれん償却額	17,591	17,239
固定資産売却損益(△は益)	△9,705	1,145
固定資産除却損	5,967	83,261
減損損失	19,093	31,141
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△87,972
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2,762
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18,320	△170,182
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,906	△1,946
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△424	908
受取利息及び受取配当金	△7,818	△6,774
支払利息	25,842	19,005
持分法による投資損益(△は益)	△12,051	△20,209
売上債権の増減額(△は増加)	144,648	105,119
たな卸資産の増減額(△は増加)	△253,613	70,373
仕入債務の増減額(△は減少)	21,071	12,112
未払消費税等の増減額(△は減少)	△233,861	28,036
長期未収入金の増減額(△は増加)	22,626	180,479
その他	131,336	77,406
小計	940,020	1,398,886
法人税等の支払額	△266,011	△55,790
法人税等の還付額	1,473	51,991
営業活動によるキャッシュ・フロー	675,482	1,395,086
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
利息及び配当金の受取額	8,320	7,272
有形固定資産の取得による支出	△342,211	△603,712
有形固定資産の売却による収入	83,285	111,752
有形固定資産の除却による支出	△11,305	△42,824
無形固定資産の取得による支出	△5,487	△5,135
無形固定資産の売却による収入	51	—
投資有価証券の売却による収入	502	126,105
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△908	△1,489
長期貸付けによる支出	—	△920
長期貸付金の回収による収入	12,506	3,424
差入保証金の純増減額(△は増加)	44,973	△30,398
その他	△26,047	△171,239
投資活動によるキャッシュ・フロー	△236,319	△607,164

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	△26,061	△19,785
短期借入金の純増減額（△は減少）	566,586	△33,414
長期借入れによる収入	1,107,000	1,088,000
長期借入金の返済による支出	△1,646,350	△503,274
社債の償還による支出	△17,500	△22,500
自己株式の取得による支出	△360,516	—
配当金の支払額	△199,636	△234,614
リース債務の返済による支出	△38,846	△35,236
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△30,850	—
その他	△6,686	△2,284
財務活動によるキャッシュ・フロー	△652,861	236,890
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△213,707	1,024,813
現金及び現金同等物の期首残高	7,474,500	5,778,938
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,260,793	6,803,752

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	10,583,642	11,475,005	296,939	691,718	23,047,305
セグメント間の内部売上高又は 振替高	108,163	3,033	—	—	111,197
計	10,691,805	11,478,038	296,939	691,718	23,158,502
セグメント利益又は損失（△）	684,999	171,758	168,605	△2,030	1,023,332

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	1,137,680	24,184,985	—	24,184,985
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,337,008	1,448,205	△1,448,205	—
計	2,474,688	25,633,191	△1,448,205	24,184,985
セグメント利益又は損失（△）	17,095	1,040,428	△652,758	387,669

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△652,758千円には、セグメント間取引消去△6,703千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△646,055千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	9,945,081	11,491,969	356,106	634,482	22,427,639
セグメント間の内部売上高又は 振替高	227,323	—	—	—	227,323
計	10,172,405	11,491,969	356,106	634,482	22,654,962
セグメント利益又は損失（△）	564,658	239,182	204,297	△21,023	987,115

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	1,508,470	23,936,110	—	23,936,110
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,321,070	1,548,393	△1,548,393	—
計	2,829,541	25,484,504	△1,548,393	23,936,110
セグメント利益又は損失（△）	19,170	1,006,286	△658,722	347,563

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△658,722千円には、セグメント間取引消去△9,020千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△649,698千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。